

令和 2 年度 自己評価結果

1 本園の教育目標

- 人との関わりを大切にする子ども
- 豊かな感性と表現力のある子ども
- 心身共にたくましい子ども

2 重点的に取り組む目標

- ・ゆめと情熱をもち続け、確かな指導力をもつ教職員の育成
- ・チーム力を生かし、互いに切磋琢磨することによる指導力の向上
- ・子どもや保護者との連携による、子どもの理解の充実

3 評価項目の達成及び取組状況

評価項目	取組状況
○園運営について ・コロナ感染予防対策を念頭に3密を避けた行事の精選と改善 ・幼稚園教育要領に基づいた確かな力の育成 ・初任者、若手教職員の指導の充実	・行事の公開に当たり、学年別・クラス別等分散して実施することによる密の回避とプログラム内容の工夫を推進 ・園内研修として全教員の公開授業研究を実施 ・園外講師による授業評価等の実施 ・週一回、指導講師による授業評価及び指導の実施
○園の施設・設備の整備 ・安全点検 ・保健室増設工事 ・玄関前の塀の改修 ・トイレ、排水等の改修 ・預かり保育の充実	・毎月安全点検を実施し、設備、備品など危険個所、補修の必要な箇所を確認し改善 ・園児健康管理充実に向け、保健室の増設工事に着手 ・トイレ、排水関連の工事の適宜実施 ・預かり保育の人員の充実
○子ども一人一人に応じた保育の実践 ・特別支援教育研修の実施 ・保護者、教職員、関連専門機関との適切な連携 ・個に応じた指導の充実	・キンダーカウンセラーによる定期的な参観の導入と観察後の指導支援研修の実施 ・関連施設との連携を密にし、個に応じた指導の在り方を研究 ・各学年で年間計画の立案。学期・月毎にカリキュラムを再点検するとともに指導の深化充実を図る ・園内、園外研修会とへの積極的な参加

<p>○考える力をはぐくむ保育の実践</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研究テーマ <p>「子どもの成長に応じた保育をめざして」</p> <p>園全体の子どもの共通理解 ～個々の引き出し方～</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・研究保育を通し、発達段階導に応じた指導、子どもたちの個性、可能性を伸ばす保育の研究 ・子どもが中心で主体的な保育の進め方を追求し、子どもたちに考えさせる指導展開の充実 ・野菜作り、芋掘りなど自然とふれあう活動の導入 ・園行事を通じた、音楽や劇遊び等の表現力の向上 ・園外保育や作品展、日常の保育等を通じて、友だちとの関わり方を学ぶとともに、仲よく活動することの価値理解深化
<p>○危機管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・設備、備品の整備 ・防災訓練 ・職員研修 	<ul style="list-style-type: none"> ・AED 使用方法の訓練 ・対地震・火災避難訓練を月 1 回実施 ・消防署、警察署等関連機関との連携を図る訓練の実施
<p>○子育て支援の充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・7時30分～9時30分、14時30分から18時30分まで預かり保育の実施 ・長期休業中も年末年始を除き、11時間保育の実施 ・「ラビちゃん教室」を開催し、未就園児の園庭開放を実施 ※コロナ感染拡大予防のため、本年度は「ひよこクラブ」の実施なし ・東区子育て支援ネットワーク活動に参加 ・英語教育教材「サイバードリーム」の有効活用 ・多彩な課外クラブ活動の設定
<p>○PTA 活動の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会員相互の親睦を図ると共に子育てする保護者同士の連携の強化 	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ感染予防対策として、PTA 行事の精選実施 ・園外保育、各学年一回のみ付き添いの実施

4 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
<p>○施設・設備の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トイレ、手洗い場等の水回り ・業務の ICT 化 	<ul style="list-style-type: none"> ・トイレの洋式化 ・事務作業等の効率化 ・保護者連絡システムの改善 ・集金業務の簡素化
<p>○地域との連携や地域の人材活用</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・登美丘西・南小学校との連携・交流 ・おおみのっ子クラブの講師として地域の方を招聘 ・おすもうさんを迎えてのお楽しみ会 ・東区子育て支援ネットワーク活動の充実
<p>○教職員の指導力の向上と活性化</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・全教員、年間 1 回の研究保育の実施継続 ・初任者研修のさらなる充実 ・園外研修への積極的参加 ・専門家を招いての園内研修の充実

5 学校関係者の評価

- コロナ感染拡大予防対策を適切に実施し、度重なる行事の見直し等、臨機応変かつ柔軟な対応ができていた。
- 困難な状況下においても、子どもの成長を支える行事を工夫し、保護者からの共感や信頼を十分に得ることができていた。
- ホームページを積極的に更新することにより、普段見ることができない子どもたちの様子をタイムリーに伝え、効果的な情報提供ができていた。
- 教職員がそれぞれの立場を尊重し合い、経験年数の違いを豊かに活用し、互いを助け合いながら熱心な指導を実践することができていた。
- 個々の子どもの特性を適切にとらえ、個々に寄り添った指導を行うと共に、保護者に対しても丁寧かつきめ細かな対応ができていた。